

資料 1：日本腎不全学会内で使用・外部から日本腎不全学会に提出頂く書式等における押印慣行の見直し結果

●委員会等名： 看護研究助成審査委員会 この資料 1 は、全委員会等で作成のこと。該当欄には○をつけ、「代替手段」とある該当欄には代替手段を記入する。

押印欄のあった書式等の名称	㊦押印廃止		㊧代替手段を設けて押印廃止： 押印を求める趣旨に該当するが、 現在は代替手段*が存在しない	㊨書式変更 なし (押印存続)
	押印を求める趣旨に該当 しない認印による押印	押印を求める趣旨に該当する が、代替手段*は既に存在		
第 1 号様式・預金口座開設報告書(原 本)		○ 代替手段：継続的な関係のある メールアドレスからの提出		
第 2 号様式・研究助成金領収証書 (原 本)		○ 代替手段：継続的な関係のある メールアドレスからの提出		
第 3 号様式・看護研究助成実績報告書		○ 代替手段：継続的な関係のある メールアドレスからの提出		
第 4 号様式・収支決算報告書 (原本)		○ 代替手段：継続的な関係のある メールアドレスからの提出		
第 5 号様式・研究助成金収支簿(原本)		○ 代替手段：継続的な関係のある メールアドレスからの提出		
第 6 号様式・研究実施期間延長承認申 請書 (原本)		○ 代替手段：継続的な関係のある メールアドレスからの提出		

- ・代替手段*の例：会員 ID による確認、継続的な関係のあるメールアドレスや既登録のメールアドレスからの提出 など
- ・注意：押印の代替手段として新たに署名を求めることは、デジタル化を推進する観点から、十分な代替手段ではなく、押印を見直すこととはみなさない (内閣府(2020)：地方公共団体における押印見直しマニュアル p8)
- ・「㊦押印廃止」に該当：書式等から押印欄を削除した修正書式案を作成する。
- ・「㊧代替手段を設けて押印廃止」に該当：書式等から押印欄を削除した修正書式案の作成に加え、必要に応じて代替手段となる記載項目 (例：会員 ID の記載欄) も設ける、若しくは書式等の提出方法や確認方法の変更 (この場合は、書式等の運用方法が記載された文章等も変更) などを行う。

第1号様式・預金口座開設報告書(原本)

旧書類

(第1号様式)

預金口座開設報告書

1. 口座開設日	(西暦)	年	月	日
2. 金融機関名	銀行 金庫			本店 支店
3. 預金種別	普通・当座			
4. 口座名義	日本腎不全看護学会____年度研究助成事業 氏名 口座番号			

上記のとおり預金口座を開設したので、お届けいたします。

年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

研究課題名 _____

所属施設名 _____
(フリガナ)
研究者氏名 _____ 印

新書類：代替手段は既に存在するため、印のみを削除

(第1号様式)

預金口座開設報告書

1. 口座開設日	(西暦)	年	月	日
2. 金融機関名	銀行 金庫			本店 支店
3. 預金種別	普通・当座			
4. 口座名義	日本腎不全看護学会____年度研究助成事業 氏名 口座番号			

上記のとおり預金口座を開設したので、お届けいたします。

年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

研究課題名 _____

所属施設名 _____
(フリガナ)
研究者氏名 _____

第2号様式・研究助成金領収証書（原本）

旧書類

(第2号様式)

提出日 年 月 日

研究助成金領収証書

¥ _____

領収日（西暦） 年 月 日

ただし、____年度 日本腎不全看護学会 研究助成金の承認額として、
上記のとおり領収いたしました。

日本腎不全看護学会
理事長 様

研究課題名 _____

所属施設名 _____
(フリガナ) _____

研究者氏名 印

新書類：代替手段は既に存在するため、印のみを削除

(第2号様式)

提出日 年 月 日

研究助成金領収証書

¥ _____

領収日（西暦） 年 月 日

ただし、____年度 日本腎不全看護学会 研究助成金の承認額として、
上記のとおり領収いたしました。

日本腎不全看護学会
理事長 様

研究課題名 _____

所属施設名 _____
(フリガナ) _____

研究者氏名

第3号様式・看護研究助成実績報告書（原本）

旧書類

（第3号様式）

看護研究助成実績報告書

年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

〒
住 所
フリガナ
研究者 氏 名
生年月日（西暦） 年 月 日 生

〇〇年度看護研究助成の研究実績報告について

〇〇年〇月〇日付で交付決定を受けた研究実績につきまして、関係書類を添えて報告します。

1. 研究課題名 :
2. 研究助成額 : 金 _____ 円也
3. 研究実施期間 : 年 月 日から 年 月 日
4. 研究者

所属施設（部署）	
所属施設住所	〒
所属施設における職名	
所属施設連絡先	
TEL ・ FAX	
E-mail	

※ 提出された本報告書は、日本腎不全看護学会誌に掲載します。論文投稿等の理由により、一定期間公表を見合わせる必要がある箇所がある場合は、公表可能な範囲で作成し、提出してください。
※ 『日本腎不全看護学会誌投稿規程』の「3.倫理的配慮」「8.原稿執筆の要領」に沿って作成してください。文字数は以下の通りです。不備がある場合は、メールにて差し戻しが行われます。
・研究要旨：全角換算で400～600字の和文としてください。
・研究目的～文献まで：全角換算で2,000字以内としてください。
・図表掲載をする場合は、どちらか1点のみとし、1点400字で、研究目的から文献までに換算してください。

新書類：代替手段は既に存在するため、印のみを削除

（第3号様式）

看護研究助成実績報告書

年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

〒
住 所
フリガナ
研究者 氏 名
生年月日（西暦） 年 月 日 生

〇〇年度看護研究助成の研究実績報告について

〇〇年〇月〇日付で交付決定を受けた研究実績につきまして、関係書類を添えて報告します。

1. 研究課題名 :
2. 研究助成額 : 金 _____ 円也
3. 研究実施期間 : 年 月 日から 年 月 日
4. 研究者

所属施設（部署）	
所属施設住所	〒
所属施設における職名	
所属施設連絡先	
TEL ・ FAX	
E-mail	

※ 提出された本報告書は、日本腎不全看護学会誌に掲載します。論文投稿等の理由により、一定期間公表を見合わせる必要がある箇所がある場合は、公表可能な範囲で作成し、提出してください。
※ 『日本腎不全看護学会誌投稿規程』の「3.倫理的配慮」「8.原稿執筆の要領」に沿って作成してください。文字数は以下の通りです。不備がある場合は、メールにて差し戻しが行われます。
・研究要旨：全角換算で400～600字の和文としてください。
・研究目的～文献まで：全角換算で2,000字以内としてください。
・図表掲載をする場合は、どちらか1点のみとし、1点400字で、研究目的から文献までに換算してください。

第4号様式・収支決算報告書（原本）

旧書類

(第4号様式) 年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

所属施設名 (フリガナ)
研究者氏名

収支決算報告書

年度日本腎不全看護学会看護研究助成の対象に承認されました
研究課題 () の
収支決算について、次のとおり関係書類を添えて報告致します。

1. 研究助成金受領額 ￥

2. 研究助成金支出額 ￥

(単位:円)

経費区分	支出額	費用区分等内訳	備考
諸謝金			
旅費		交通費 宿泊費	
調査研究費		事務用消耗品費 消耗品費 印刷製本費 通信運搬費 借料及び振料 会議費 雑役務費	
委託費			
合計			

3. 過不足額 ￥ (内訳) 預金利息 円
自己資金 円

新書類：代替手段は既に存在するため、印のみを削除

(第4号様式) 年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

所属施設名 (フリガナ)
研究者氏名

収支決算報告書

年度日本腎不全看護学会看護研究助成の対象に承認されました
研究課題 () の
収支決算について、次のとおり関係書類を添えて報告致します。

1. 研究助成金受領額 ￥

2. 研究助成金支出額 ￥

(単位:円)

経費区分	支出額	費用区分等内訳	備考
諸謝金			
旅費		交通費 宿泊費	
調査研究費		事務用消耗品費 消耗品費 印刷製本費 通信運搬費 借料及び振料 会議費 雑役務費	
委託費			
合計			

3. 過不足額 ￥ (内訳) 預金利息 円
自己資金 円

第 6 号様式・研究実施期間延長承認申請書（原本）

旧書類

(第 6 号様式)

研究実施期間延長承認申請書

年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

〒
住 所
フリガナ
研究者 氏 名
生年月日（西暦） 年 月 日 生

日本腎不全看護学会看護研究助成の対象に承認されました、以下の研究課題について、研究計画変更等に伴い、下記のとおり研究実施期間を1年間延長したいので、ご承認くださるようお願いいたします。

1. 研究課題名 :

2. 研究助成額 : 金 円也

3. 研究実施期間
(変更前) 年 月 日から 年 月 日
(変更後) 年 月 日から 年 月 日

4. 研究実施期間を延長する事由
【区分】
① 当初計画の遅延・変更・・・【事由】
② その他、上記①に該当しない場合

【延長理由】 区分②を選択した場合、研究実施期間を延長する理由を記載すること。

<区分①事由>
a 研究者の研究以外の業務、子の養育（産前産後または育児休業の取得を含む）、介護や身内の不幸、怪我や病気によるもの。
b 研究の遂行に際し想定以上に時間を要したものの。
c 研究計画の見直しが必要となったものの。
d 研究実施場所の変更（転居や修繕、工事など）によるもの。
e 実験装置や機器の故障により調整が必要となったもの。
f 自然災害によるもの（感染症の流行等も含む）。

新書類：代替手段は既に存在するため、印のみを削除

(第 6 号様式)

研究実施期間延長承認申請書

年 月 日

日本腎不全看護学会
理事長 様

〒
住 所
フリガナ
研究者 氏 名
生年月日（西暦） 年 月 日 生

日本腎不全看護学会看護研究助成の対象に承認されました、以下の研究課題について、研究計画変更等に伴い、下記のとおり研究実施期間を1年間延長したいので、ご承認くださるようお願いいたします。

1. 研究課題名 :

2. 研究助成額 : 金 円也

3. 研究実施期間
(変更前) 年 月 日から 年 月 日
(変更後) 年 月 日から 年 月 日

4. 研究実施期間を延長する事由
【区分】
① 当初計画の遅延・変更・・・【事由】
② その他、上記①に該当しない場合

【延長理由】 区分②を選択した場合、研究実施期間を延長する理由を記載すること。

<区分①事由>
a 研究者の研究以外の業務、子の養育（産前産後または育児休業の取得を含む）、介護や身内の不幸、怪我や病気によるもの。
b 研究の遂行に際し想定以上に時間を要したものの。
c 研究計画の見直しが必要となったものの。
d 研究実施場所の変更（転居や修繕、工事など）によるもの。
e 実験装置や機器の故障により調整が必要となったもの。
f 自然災害によるもの（感染症の流行等も含む）。